

# ギャラリー恵風 ニュースレター 2010.10

朝夕やっつしのぎやすくなりましたが、皆様如何お過ごしでしょうか。

日頃は何かとご厚情を賜り、誠にありがとうございます。  
10月開催の展覧会をご案内させていただきます。

3日までは、先月に続き 1Fは花岡伸宏展、2Fは北川安希子展です。

5日からは、1F・2Fともに「板締め染」の研究をされている石塚広さんの個展です。

12日からは、1Fでは植葉香澄(陶)と染谷聡(漆)の二人展。染谷さんに恵風で前回個展をしていただいた時、他のギャラリーで個展をしていた植葉さん。今回、装飾にこだわりを持つふたりの競演を企画致しました。

又、2階では、漆の井川健・下條華子と、片山亜紀(陶)、畑中篤(陶)による「工芸とくらし」展。普段生活の中で使用できるクオリティの高い作品を発表します。1F2Fともに、陶と漆というジャンルの中で、表現の幅のひろがり・違いが楽しみです。

26日からは、1Fでは<若手作家連続企画 Vol.3>岡田真希人展。力の入ったインスタレーションと平面。宇宙の広がりを感じさせる作品です。

2Fのほうはベテラン吉田真紀子の植物をモチーフにした繊細な銅版画展です。

今年の10月は「京都アートマップ月刊」として恵風も参加しております。秋のアートシーンを楽しみに是非お立ち寄りくださいませ。スタッフ一同お待ち申し上げます。

敬具  
野村恵子

## 1F

10月5日(火) - 10月10日(日)

### 石塚広展

これまで「板締め染」の技法で作品を制作してきた。今回の作品は布を砂利とステンレス板、市販の樹脂製品で挟み藍と墨で制作した。布にはシワが遺り従来の板締め染とはかけ離れた仕上がりになったが、手の跡を拒否するような簡素で明快な板締めの特徴は受け継がれていると感じる。インスタレーション作品を中心に展示する。(石塚) -プロフィール-

1950年 千葉県生まれ | 1987年 朝日現代クラフト展 優秀賞

1990年 THE INTERNATIONAL TEXTILE CONTEST 優秀賞 アイデアコマ賞

10月12日(火) - 10月24日(日) ※10/18(月)休廊

### 植葉香澄 × 染谷聡 展

◇キメラは複数の染色体があみくすした想像上の動物です。わたしのアンテナに引っかかったものをミックスし私なりのキメラ。今回は信楽の陶芸の森で制作した大きなキメラも展示させていただきます。(植葉香澄)

◇「日本の装飾の魅力をなすもの、それは、いつもその装飾のあたえ方に現れるファンタジーと奇想である。」(エルネスト・シュノー) 今回の二人展では、お互いに「装飾」や「生き物」という特徴をあたえる作品表現のなか、ひとつの空間をそれぞれのかたちで、ファンタジーや奇想によって“飾る”ことができれば良いと思います。(染谷)

◆植葉 香澄 UEBA KASUMI

1978 京都府に生まれる

2001 京都市立芸術大学美術学部陶磁器専攻卒業 | 2002 京都市工業試験場修了

2003 京都府陶工高等技術専門学校卒業 | 京都高島屋 / 京都 ('05)

2005 ギャラリー器館 / 京都 ('06, '07, '08, '09, '10)

2006 サボア・ヴィーブル / 東京 ('07, '08)

2007 ギャラリー顕美子 / 愛知 ('09) | ギャラリーこうけつ / 岐阜

10月26日(火) - 11月7日(日) ※11/1(月)休廊

### < 特別企画 Vol.3 > 岡田真希人 展 「旅のスケッチと帰り道の地図」

マゼランの船がスペインの港に帰り着いたとき、地球は丸くなり、空はすっぽりと地球を覆った。海図と星座図の空間の使い方が似ているのは当然か。何かが現れると形は見えなくなり、消えると見えるようになる。希望と焦燥とで引き裂かれそうな旅の夜の、そんな夜空の絵を描いているはずなのだが、いつの間にか海を描いているんじゃないかと思うときがある。線やら色やらを夜空に貼付けているような、海に浮かべているような。結局、回帰的なのだ。(岡田)

【プロフィール】

1977 名古屋市に生まれる | 2000 立命館大学法学部法学科政治行政コース卒業

2008 京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程絵画専攻修了

1992年 第一回国際絞り会議の発案より参画 | コンテンポラリー展 (名古屋) キューレータ

1997年 国際絞り会議ミニチュール展 (India)

1999年 国際絞り会議コンテンポラリー展 (Chile)

2005年 国際絞り会議 SHIBORI-TEXTILE CATALYSTS 展 (東京)

2003~2004年 SHIBORI-FABRIC TRANSFORMED(Norway)

平成16~18年 島根県古代文化センターの客員、特任研究員として板締め染の調査、研究にあたる

2010年12月~2011年 EL Salvadorにて展覧会予定

SILVER SHELL 京橋 / 東京 ('09)

2008 祇をん小西 / 京都

主なグループ展

2008 「京都府美術工芸新鋭展—2008 京都工芸ビエンナーレ」 京都文化博物館 / 京都  
パラミタ陶芸大賞展 パラミタミュージアム / 三重

2009 「高島屋美術部創設百年記念—現代工芸作家がつくる—未来へのタカラモノ」  
大阪高島屋、東京、京都

「現代工芸への視点—装飾の力」 東京国立近代美術館工芸館 / 東京

◆染谷聡 SOMEYA SATOSHI

1983 東京都出身 | 現在 京都市立芸術大学博士課程漆工領域在学

2009 「自宅から美術館へ 田中恒子コレクション展」 和歌山県立近代美術館 (和歌山)

2009 「現代工芸への視点—装飾の力」 東京国立近代美術館工芸館 (東京)

2010 「里山のおいしい美術」 越後妻有まつだい農舞台 (新潟)

個展

2008 「Hritage of S」 ギャラリー恵風 (京都)

2009 「御獣 - おけもの -」 イムラアートギャラリー (京都)

【主な展覧会】

2010 京芸 Transmit Program #1 「きょう・せい」 京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA / 京都  
京都オープンスタジオ 2010 桂スタジオ / 京都 (2009)

2009 ART CAMP in Kunst-Bau 2009 ギャラリーヤマグチ Kunst-Bau / 大阪  
PICA 3 ART COURT GALLERY / 大阪

2008 Identity IV nca | nichido contemporary art / 東京

ART AWARD TOKYO 08 行幸地下ギャラリー / 東京

2007 Makito Okada 「SPACE SHIP」 GALLERY wks. / 大阪

2006 Makito Okada 「starlit days」 石田大成社ホール / 京都

10月12日(火) - 10月24日(日) ※10/18(月) 休廊

## 工芸とくらし展

◇2人とも京都芸大漆工専攻を卒業。この5月に結婚。その結婚披露宴の引出物として木地と仕上げを分担し共同制作として器を制作。その経験から、今回「使えるもので」という展覧会の依頼を受けた時、2人の共作としての作品を制作しようと思いました。佐賀に移り住み制作を続けています。(井川・下條)

◇山や海に転がっている枝や貝や小石に魅力を感じ、ずっと眺めて触っていきたくります。そのような器を作れたら幸せだなあ、と思う日々です。(片山)

◇歴史的、伝統的に培われてきた「焼きもの」を形成する要素(土、釉薬、焼成方法)についての見識を深めつつ、現代の中で育つ自分の感性を通じた造形のあり方について日々模索しています。「モノ」が溢れる中で、つくり手として何ができるのか、一つずつ確認していく作業の重要性を感じています。(畑中)

### ◆井川健 IGAWA Takeshi

1980 兵庫県生まれ

2004 石田大成社ホール(京都)

2005 第45回日本クラフト展『優秀賞』(丸ビル・東京他)

2007 井川健・下條華子 漆二人展 (GALLERY 葵庵・京都)

2008 祇をん小西(京都)

2009 国際漆展・石川 2009 大賞(めいてつエムザ・石川)

平成20年度『京都市芸術新人賞』(京都市)

京都市立芸術大学大学院美術研究科博士(後期) 課程博士(美術) 取得

現在 佐賀大学文化教育学部美術・工芸講座講師

2010 GALLERY 葵庵(京都)

### ◆下條華子 GEJO Hanako

1980 山梨県生まれ

2006 京都市立芸術大学大学院(漆工専攻) 修了

2004 制作展『市長賞』| 個展(ギャラリーはねうさぎ)

2005 国際漆展・石川 2005

2006 日本クラフト展

2007 美術工芸新鋭選抜展 2007(京都文化博物館)

「井川健・下條華子二人展」(ギャラリー葵庵)

2009 京展 2009『楠部賞』| 個展(祇をん小西)

### ◆片山亜紀 KATAYAMA Aki

1979 広島に生まれる

2002 京都市立芸術大学美術学部工芸科陶磁器専攻卒業

個展

2004 京都高島屋美術工芸サロン, 京都 | 2006 うつわショップ BON. II, 京都

2007,08.09 SAVOIR VIVRE, 東京 | 2008 human+art 太陽事務, 京都

2009 ギャラリー器館, 京都

賞歴

2002 第1回若きつくり手を育てるクラフトコンペ京都陶芸の新しい芽  
優秀賞受賞(たち吉主催)

2008 第26回朝日現代クラフト展 審査員奨励賞受賞

### ◆畑中 篤 HATANAKA Atsushi

1979 奈良市生まれ

2003 京都市立芸術大学 工芸科卒業 | 元興寺文化財研究所入所

2005 吉川正道氏に師事

2007 愛知県常滑市にて制作活動開始

2008 ~名古屋芸術大学非常勤講師

2010 制作拠点を奈良に移す

1985年 京都美術展

1986年 '88 '90 '92 現代版画コンクール展

1987年 和歌山版画ビエンナーレ展

1991年 大田トリエンナーレ

1993年 「いま絵画は・・・OSAKA '93」

1996年、2005年 新鋭美術選抜展

1986年より大阪、京都、福井、韓国ソウルなど個展多数

現在、神戸芸術工科大学、大阪美術専門学校非常勤講師

兵庫県立美術館美術講座エッチング講師

10月26日(火) - 10月31日(日)

## 吉田真紀子 展

樹や花など自然物をモチーフに制作しています。

うつりゆく時の中で、それらは、妖しく、はかなく、様々な表情をみせる。

その瞬間に出会うことは、私にとって偶然ではなく、やはり必然であると思う。

そしてその出会いがとても愛しく思えるのです。(吉田)

<プロフィール>

1987年 京都市立芸術大学大学院美術研究科版画専攻修了

1984年 センtral版画大賞展

1984年 '85 '86 京展

## 今後のスケジュール

### ◆1F ギャラリー

~ 11/7 岡田真希人 展

11/9 ~ 11/14

ツツミアスカ × ドモンコス紀子 展

11/16 ~ 11/21 三人の絵画 展

(日下部直起、蛭田均、山本桂右)

11/23 ~ 12/5 第8回風~明日への軌跡 展

(田中孝、松居邦明、水野正彦)

### ◆2F ギャラリー

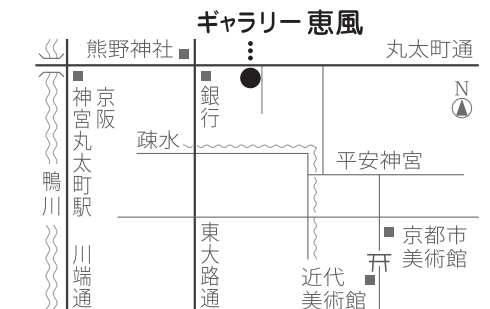
11/2 ~ 11/7 佐々木るり子 展

11/9 ~ 11/14 国際交流総合選抜小品 展

11/16 ~ 11/21 稲垣直樹 展

11/23 ~ 12/5 伊藤弘之 展

## アクセス



市バス 熊野神社前 下車すぐ・京阪神宮丸太町駅より

徒歩5分・京都市美術館より徒歩7分

OPEN: 12:00~19:00(最終日 18:00 まで)

月曜休廊

発行: ギャラリー恵風

発行日: 2010.9.17

〒606-8392

京都市左京区丸太町通東大路東入ル南側

TEL: 075-771-1011 FAX: 075-771-0358

E-mail: g-keifu@hotmail.co.jp

URL: http://keifu.blog86.fc2.com